

# 中学校

## 支援学級

# 学ぶ楽しさを伝えよう！

枚方市立枚方中学校

教科

自立活動

単元名

心理的な安定・コミュニケーション

### 本時のねらい

次年度支援学級に在籍する予定の新1年生が安心して学べるよう、支援学級で学習することで自分自身がどのように成長したかをスライドにまとめて伝えることができる。

### 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・生活の中で自分の思いなどを表現することが苦手な生徒に、自分自身の成長を実感させ、自己肯定感を高める。
- ・発語に困難を抱える生徒に、スライドで自分の思いを表現することをねらった。
- ・新1年生が学ぶことの楽しさを実感できるようにするための工夫を考えることで、後輩に対する思いやりの気持ちを育てる。
- ・発表する方法を考え、工夫することで、より良いスライドを作る楽しさを実感する。

### 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレットPC
- ・授業支援ソフト（ミライシード）

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。</li> <li>○入学時からの現在までで、できるようになったことなど自分自身の成長について考える。</li> <li>○自分自身の成長を新1年生に紹介するためのスライドを作成することについて説明を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットPC内にあるメモ機能を活用して、できるようになったことや新1年生に伝えたいことをメモするよう促す。</li> </ul>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業支援ソフト（ミライシード）から質問を配信し、その質問に答える形式で、スライドをまとめる。</li> <li>・あなたが困ったことや不安だったことは何ですか。</li> <li>・困ったことや不安だったことを解消するためにしたことは何ですか。</li> <li>・今のあなたは、支援学級で学ぶことをどう思っていますか。</li> <li>・あなたが成長したところは、どのようなところですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業支援ソフト（ミライシード）を活用し、質問形式にすることで、どの生徒も自分の思いを表現しやすくする。</li> <li>・新1年生がどのようなところに不安を感じるか想像しながらスライドを作成するよう促す。</li> <li>・生徒自身が不安だったことを共有・共感することで、安心して表現できる実感につなげる。</li> <li>・新1年生が見て安心する言葉遣いや表現を考えるよう促す。</li> </ul>
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなの意見をまとめて1つのスライドを作成するためにはどうしたらいいか考えて、意見を出し合う。</li> <li>○出てきた意見を整理して、新1年生に伝える内容を決める。</li> <li>○スライド作成の役割分担を話し合い、決める。</li> <li>○話し合った内容を振り返り、次時にどのようなことをするかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生が何を知りたいかや、何に不安を感じているかを考えながら話し合うよう促す。</li> </ul>

### 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：新1年生に伝えることを考え、授業支援ソフト（ミライシード）に入力している場面



写真2：友だちの考えを確認し、自分の考えをさらに深めている場面



写真3：困ったことや不安を感じたことをどのように解消したかを考え、入力している場面

### 児童生徒の反応や変容

- ・新1年生というはっきりとした相手意識と、新1年生が困っていることや不安を感じていることを解消し、学校生活を楽しく過ごせるようにするには何を伝えたらいいのか、という目的意識があったため、話し合いがとても活発になった。
- ・言葉では自分の思いや考えを表現することが難しい生徒でも、質問に答える形式であればスムーズに活動することができた。
- ・ICTを活用することで、友だちの考えを瞬時に確認することができるため、自分の考えをより深めることができていた。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

本学習を通して、自分自身の中学校生活を振り返り、どのようなことができるようになったのかなど、自分自身の成長を感じることで、自己肯定感を育てるよう工夫した。相手意識や目的意識を明確にすることで、話し合いが活発になり、どの生徒もいきいきと学んでいた。また、自分の言葉で表現することに、苦手意識を持っている生徒が、自分自身が困っていたことを知るための良い機会にもなった。